

| | | | | | |
|-------|-------------------------------|--------|---------------|------------------------------|-------------------|
| 授業科目名 | 看護の統合と実践臨地実習Ⅰ (医療安全と感染看護学) | | 担当教員 | ◎鶴沢淳子、休波茂子、有家香、 中川泰弥、新川実穂 | 科目ナンバリング NM469 |
| 必修 | 開講年次：4年前期 | 単位：1単位 | 授業形態：臨地実習45時間 | | |

【授業概要】

ケアの質と安全を管理するために、看護に必要な医療安全および感染予防についての知識と技術を修得する。質の高い安全な医療を提供するための組織としての取り組みについてリスクマネージャーおよび感染制御看護師の役割を通して理解する。

【達成目標】

1. 医療施設の見学を通して、医療機関における安全管理について理解する。
2. 複数患者を受け持つ看護師の安全行動を抽出し、背景を踏まえて分析する。
3. 看護チームの構成と個々の看護師の役割を理解し、安全に業務を遂行する上で必要なコミュニケーションの実際を知る。
4. 医療施設の見学を通して、医療機関における感染管理について理解する。
5. 感染管理システムが、臨床現場でどのように働いているか言語化する。
6. 病棟の看護師がとっている感染予防行動について分析し、自らの考えを示す。
7. 安全で質の高い医療の実現に向けて、看護師に求められる知識・技術・態度について討議する。

【履修条件】

「医療安全」を修得していること

【授業計画】

- 1日目 オリエンテーション(実習における注意事項)(病棟の構造、病棟における安全・感染管理)
- 2～4日目 病棟実習(メンバーシップ・リーダーシップについて、看護師の安全行動、感染予防行動について)カンファレンス
- 5日目 医療事故分析、評価面接

【教科書】

指定なし

【参考書】

2年次「医療安全」で配布した資料を参考書とする。

【評価方法・評価基準】

実習目標に対する到達度評価(60%)、課題レポート1(20%)、課題レポート2：医療事故分析レポート(20%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：2年次医療安全で配布した資料を熟読する。(2時間)

事後学習：1日の実習終了時に、各自体験した内容を指定の用紙に記載し、振り返る。実習を通しての学びを課題レポート1にまとめ提出する。(2時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅲ. チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力、Ⅶ. 包括的看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習記録については4年次後期に学生個人に返却する。

【備考】

医療安全(感染管理も含む)に関する技術は医療施設で働いてすぐに求められる。本実習では、多忙な臨床現場であっても常に安全行動を取るために必要な知識・技術・態度について身に付けられるよう取り組むこと。本実習は臨床経験5年以上を有し、医療安全及び感染対策に携わってきた教員が、現場のリスクマネージャー及び感染管理看護師(リンクナース)と協働して指導に当たる。